

事務事業名	総合的な空き家対策事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	26	終了	
H27担当課等名	ムトスまちづくり推進課		H27係等名	自治振興担当		H26係等名		自治振興担当					
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営				施策	91	市民参画による協働の促進				
目的	対象(誰・何を)	空き家						指標名及び単位		26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	空き家化の予防、活用・流通、管理不全対策、跡地利用の誘導による空き家の解消						対象指標	空き家率(H25住宅・土地統計調査)		0.138		
	向上させたい上位施策の成果指標	空き家戸数の割合(%)											
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	空き家戸数				5970	5970	6100	6200				
	定性目標												
事業概要	<p>空き家が適正に管理されないまま放置されると、防火・防犯、景観や生活環境の悪化等様々な問題が生じ、さらには地域コミュニティの活力低下の要因に繋がる。空き家対策は、行政、地域住民、事業者、NPO等が相互に連携して、それぞれの責務や役割を果たし、所有者に対して意識の向上や所有者としての責任に基づく行動を促していくことを軸に進める。</p> <p>1 空き家化の予防 2 活用・流通の促進 3 管理不全対策 4 跡地利用の誘導</p>												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	<p>1 地域が創発するモデル事業育成のため、まちづくり委員会が取り組む事業への支援 2 空き家対策会議での対策方針策定 3 空家等の適正な管理及び活用に関する条例制定</p>					助成地区数			4地区				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		0	2,981	711	1,939	H26 当初予算1,042千円 補正予算1,939千円 26→27 繰越明許費 1,939千円 (国)地域住民生活等緊急支援のための交付金(空き家対策事業)(10/10)							
国庫支出金			1,500		1,500								
県支出金													
起債													
その他													
一般財源			1,481	711	439								
人件費計(千円)②		0		2,861									
正規職員所要時間				800									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		0	2,981	3,572	1,939								
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>増え続ける空家対策として、総合的な空き家対策方針の策定と空家等の適正な管理及び活用に関する条例の制定を行うとともに、モデル地区が取り組む事業への支援を行った。</p>												
改革改善の考え方	①問題点	<p>空家の所有者等の問題意識や危機意識が低い。空家の増加は、防災、防火・防犯、景観や環境面に悪影響を及ぼすだけでなく、地域の活力低下が懸念される。空家対策の解決に向けたプロセスやアプローチに多方面の協力と時間を要する。リニア、三遠南信時代を見据えた地域づくりの観点と新たなニーズを視野に、空家や跡地を地域資源として循環させる必要がある。</p>											
	②改革提案	<p>空家対策は、所有者の責任において対処すべき問題であることを基本に、行政、地域住民、事業者、NPO等が相互に連携し、それぞれの責務や役割を果たし、所有者に対しての意識向上や責任に基づく行動を促していくことを軸に進める。</p>											